

人をつなげ支え合う持続可能な  
富田林市こども食堂・居場所づくり  
トータルコーディネート事業  
活動の記録



休眠預金等活用事業



2026年2月

とんだばやしみんなの居場所づくり応援隊

(一社)富田林市人権協議会・(社福)富田林市社会福祉協議会・(特活)きんきうえぶ

## 目次

人をつなげ支え合う持続可能な富田林市子ども食堂・居場所づくり トータルコーディネート事業とは.....	1
地域の居場所に関する市民アンケート調査を行いました .....	3
取り組んできたこと.....	5
子ども食堂や居場所を増やしてきました .....	5
つながりフードサポートセンターを開設しました.....	12
“とんだばやし居場所つながりマップ”で情報発信しています .....	14
新堂小学校区、大伴小学校区の子ども食堂を対象に アンケート調査を行いました .....	15
子ども食堂を利用している子どもたちの意見.....	15
子ども食堂に関わっているボランティアの意見 .....	17
新堂小学校、大伴小学校に通う高学年の子どもたちの意見 .....	18
これからの富田林市における居場所づくりの課題.....	19
本事業を終えて.....	20

## 人をつなげ支え合う持続可能な富田林市子ども食堂・居場所づくり トータルコーディネート事業とは

人をつなげ支え合う持続可能な富田林市子ども食堂・居場所づくりトータルコーディネート事業は、2022年度の休眠預金助成事業で資金分配団体 認定 NPO 法人全国子ども食堂支援センター・むすびえが募集した「地域の居場所のトータルコーディネート事業―官民協働で暮らしの安心を創造する―」に採択された3年間に渡る事業です。

人と人のつながりの希薄化を背景に、つながりを生み出す課題解決策として「居場所」への社会的注目が高まっています。居場所には人と人をつなげる〈交流〉機能と、人を支える〈支援〉機能があり、これが地域に適切に配置されていると、地域住民がご機嫌に暮らせるようになります。子ども食堂は、その機能を発揮している典型的な「居場所」と言えます。しかし、このような「居場所」はまだ地域的に偏在し、それを継続・維持していくためには多くの人の協力と努力が必要です。

この事業では、地域住民の主体的な発意を最大限尊重しつつ、その便益がすべての地域住民のものになるよう、地域を面的に捉え、官民への働きかけを行い、ご機嫌に暮らせる地域の実現を目的としています。

この事業は一般社団法人富田林市人権協議会、社会福祉法人富田林市社会福祉協議会、NPO 法人きんきうえぶの三者により、それぞれの団体の特性を活かしたコンソーシアム「とんだばやしみんなの居場所づくり応援隊」(以下、「応援隊」)で実施することとし、富田林市からもご協力をいただきました。

2023 年度から事業開始しました。子ども食堂支援、居場所づくりについては、行政、社会福祉協議会等すでに積極的に取り組まれてきた課題ですが、さらにこの事業で何を目標にしていくのか、応援隊で相当時間をかけて議論し、また、後で紹介する「地域の居場所に関する市民ニーズ調査」を実施して次ページの様なロジックモデルを作成しました。

ロジックモデルの短期アウトカム(3年)がこの事業終了時までには実現しようとした目標です。

- ① すべての小学校区に世代や背景を問わず参加できる子ども食堂・居場所が運営され、つながりが促進されている。
- ② 子ども食堂・居場所運営者がつなサポ(地域フードバンク「つながりフードサポートセンター」)とつながり、継続的に必要な食材や支援を手に入れることができる。
- ③ つなサポが正式に設立され、地域企業・農家・中間就労者・ボランティア等によって運営され、必要などころにサービスを提供できる。

「人をつなぎ支え合う持続可能な富田林市子ども食堂・居場所づくりトータルコーディネート事業」中長期アウトカム  
(10年を目標)

富田林のどこでも身近なところで居場所が運営されておき、それそれがつながっている。



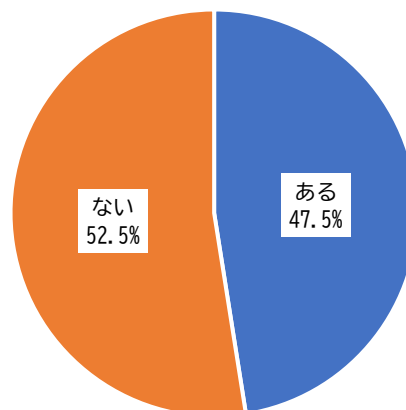
## 地域の居場所に関する市民アンケート調査を行いました

事業実施にあたり、全市民を対象に「地域の居場所に関する市民アンケート調査」を実施しました。

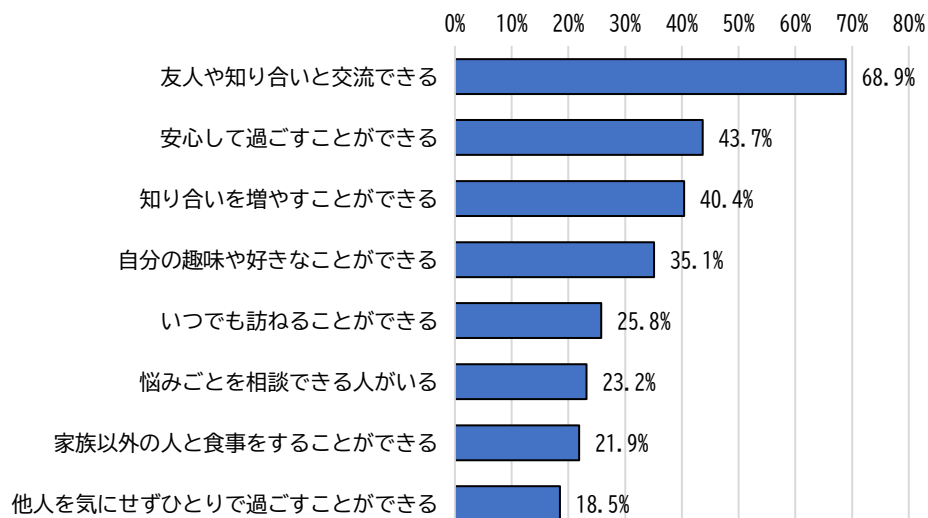
- 集計期間  
2023年10月1日～2024年2月29日
- 調査対象  
富田林市民(市広報誌による周知。Googleフォームによる回答)
- 回答数  
318件

回答数 318件のうち、「地域に居場所がある」と回答した人は47.5%で、半分以上が「居場所がない」と回答しています。

地域にあなたの居場所がありますか (N=318)



地域の居場所と感ずる場所 (N=151)

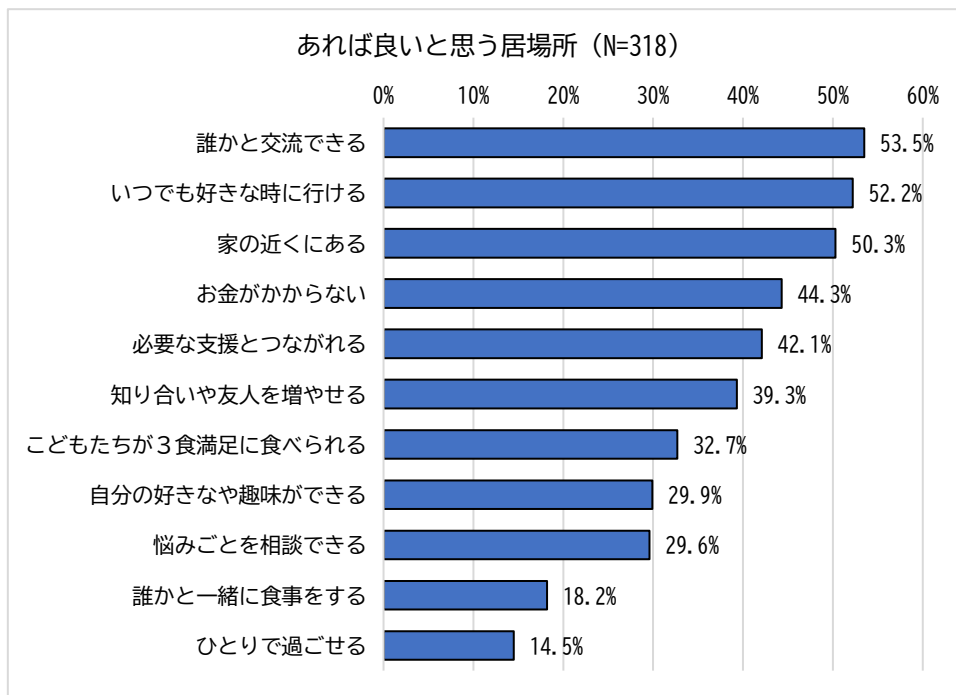


「地域に居場所がある」と回答した151人のうち、「地域の居場所と感ずる場所」は、「友人や知り合いと交流できる」が68.9%で最も多く、次いで「安心して過ごすことができる」が43.7%、「知り合いを増やすことができる」が40.4%、「自分の趣味や好きなことができる」が35.1%となっています。

市民が居場所と感ずる場所のキーワードは、「交流」「安心」「趣味・好きなこと」のようです。

「あれば良いと思う居場所」は「誰かと交流できる」が53.5%で最も多く、次いで「いつでも好きな時に行ける」が52.2%、「家の近くにある」が50.3%、「お金がかからない」が44.3%、「必要な支援とつながれる」が42.1%となっています。

市民が望む地域の居場所は、「誰かと交流できて、好きな時に行ける、自宅に近い場所で、無料で利用でき、必要な支援が得られる場所」のようです。



## 取り組んできたこと

ロジックモデルの短期アウトカムを目標に主に次の3つのことに取り組んできました。

### こども食堂や居場所を増やしてきました

応援隊で役割分担を行い、市内のすべての小学校区に設置されている「校区交流会議」に出向いてこども食堂や居場所の意義を説明し、こども食堂等の開設相談等に応じてきました。

その結果、これまで空白だった校区にこども食堂が開設されたり、補助金を受けていなかった団体の伴走支援を行い、事業実施当初7小学校区14ヶ所だった市内のこども食堂や居場所は12小学校区19ヶ所に増えました。(こども食堂・居場所の増加率は35.7%。但し、この間、閉鎖したこども食堂等も3ヶ所あるので、実際に増えたこども食堂等は8ヶ所)、小学校区充足率(1つの小学校区に一つ以上こども食堂や居場所がある比率)は75.0%になりました。(2026年1月現在。応援隊発足時は43.8%)

## 富田林市内のこども食堂や居場所



2026/1月現在

応援隊が把握し、掲載の許可を得たものです。  
今後調査し順次更新していきます。

 **つながりフードサポートセンター**  
桜井町1丁目2-47  
☎0721-87-1859



子ども参加料：100円

※大人参加料、及び⑩嬉ハウス参加料は  
直接問合せください



## 喜志小学校区

### ① こども食堂きしっこ

連絡先	090-1150-1543(中西)
場所	喜志新家町 1-10-13
開催日時	月 1 回 第 2 火曜日 17:00~18:00

### ② あのね

連絡先	090-2809-4603(滝井)
場所	木戸山町 1-36 喜志小学校内
開催日時	月 1 回 土曜日(不定期) 11:30~13:00

## 新堂小学校区

### ③ こども食堂 そこに愛はあるんか

連絡先	090-5462-4846(木下)
場所	若松町 5-6-6 居酒屋らくえん内
開催日時	毎週水曜日 16:00~18:00

### ④ はっぴい食堂

連絡先	090-6674-8841(蔵田)
場所	若松町 2-3-2 太陽ビル 3F303
開催日時	月 1 回 第 2 または第 4 土曜日 10:30~15:00



### ⑤ ほっとスペースとんだばやし

連絡先	0721-24-3700(松本)
場所	若松町 1-7-1 多文化共生・人権プラザ内
開催日時	月 4 回 木曜日 18:00~19:00

### ⑥ おかえり食堂

連絡先	0721-25-8517(芝)
場所	若松町 3-9-28
開催日時	月 1 回 土曜または日曜日 12:00~14:00

### ⑦ なの花食堂

連絡先	0721-69-6644(高塚)
場所	若松町東 1-205-1 なの花事業所内
開催日時	月 1 回 土曜(不定期) 11:00~14:00



## 大伴小学校区

### ⑧ おおとも子ども食堂

連絡先	090-9863-9030(木本)
場所	南大伴町 4-4-1 かがりの郷内 または大伴小学校内
開催日時	月1回 第3水曜日 15:00~17:00

## 富田林小学校区

### ⑨ トピックずーむ食堂

連絡先	「トピックずーむ食堂」で検索
場所	常盤町 16-11 きらめき創造館内
開催日時	月1回 第3土曜日 16:00~18:00

### ⑩ 富田林町こども食堂とんだばやし

連絡先	tondabayashichokodomo@gmail.com
場所	富田林町 16-12 富田林町集会所内
開催日時	月1回 第3土曜日 11:30~13:30



## 川西小学校区

### ⑪ オマの縁側

連絡先	090-8572-5931(本間)
場所	新家 1-3-1 川西小学校内
開催日時	月 1 回 第 2 又は第 3 金曜日 18:00~19:00

## 錦郡小学校区

### ⑫ やきやこども食堂

連絡先	090-9041-0834(辻)
場所	須賀 138-1 鶏焼やきや内
開催日時	月 1 回 第 3 月曜日 17:00~19:00

### ⑬ ギャル飯 ~調理師ギャルが作るパワー全開晩ご飯~

連絡先	070-3336-0199(横平) / 070-3336-0370(坂口)
場所	須賀 1-14-22 あしたみっけ内
開催日時	月 1 回 第 3 金曜日 19:00~21:00



## 彼方小学校区

### ⑭ 嬉ハウス

連絡先	Instagram(うれしハウス)で検索 メッセージ連絡可
場所	富田林市嬉 金胎寺山周辺
開催日時	開催不定期 およこ食堂・山の活動等

## 高辺台小学校区

### ⑮ ウイズ食堂

連絡先	LINE <a href="https://lin.ee/3flUb2T">https://lin.ee/3flUb2T</a> (久保田)
場所	高辺台 2-9-8
開催日時	月1回 第3土曜日 11:30~14:00

## 向陽台小学校区

### ⑯ わごころこども食堂

連絡先	090-5468-9895(森)
場所	向陽台 1-4-30 けあばる内
開催日時	月1回 第2又は第3土曜日 11:30~13:30



## 小金台小学校区

### ⑰ きずな食堂

連絡先	29-0019(寺田)
場所	小金台 2-5-10 NPO 法人きんきうえぶ内
状況	休止中

## 寺池台小学校区

### ⑱ カレー食堂

連絡先	wakku2019@gmail.com(寺田)
場所	寺池台 1-9-207(101) わっくカフェ内
開催日時	月 2 回 第 2 水曜日 17:00~19:00 / 第 4 土曜日 11:00~13:00

## 伏山台小学校区

### ⑲ 寺子屋カフェ花唐草

連絡先	070-4313-6358(寺田)
場所	須賀 2-19-11(2F) カフェ&バー「花唐草」内
開催日時	月 4 回 不定期 10:00~14:00 / 16:00~20:00



## つながりフードサポートセンターを開設しました

こども食堂や居場所を応援するため「つながりフードサポートセンター(つなサポ)」を2025年4月に開設しました。

つなサポが食品提供している団体は35団体(2026年1月現在)になり、こども食堂への食材支援、社協と連携した定期的な生活困窮者支援、「ひとり親家庭歳末お助け食品パック」の配布にも活用されています。食品のご寄付も増え、運営のための財政的なご支援も広がっています。



# つなサポへの支援と食品提供の仕組み



つなサポ活動に対する寄付は、右のQRコードから可能です。

現金での寄付も可能です、お問い合わせください。



オンライン寄付

## 集められた食品はどのように活用されるの？



こども食堂や居場所に対する食品提供



行政の生活困窮者自立相談支援担当窓口と連携した生活困窮者支援



災害時など緊急の食料支援

## “とんだばやし居場所つながりマップ”で情報発信しています

居場所と利用者をつなぎ、居場所と地域をつなぐために、利用目的に応じて行きたい居場所をスマホで手軽に選択できるデジタルマップを作成し、2026年2月に公開しました。2026年1月現在 67 団体が登録しており、さらに登録団体を増やし、使いやすいものに改良していく予定です。ぜひご活用下さい。

<https://tsunamap.jp/>



登録はこちら



tsunamap.jp/kens

**もくてき**

あそぶ -  まなぶ -  たべる  
 しゃべる -  くつろぐ  
 趣味を楽しむ -  からだを動かす  
 その他

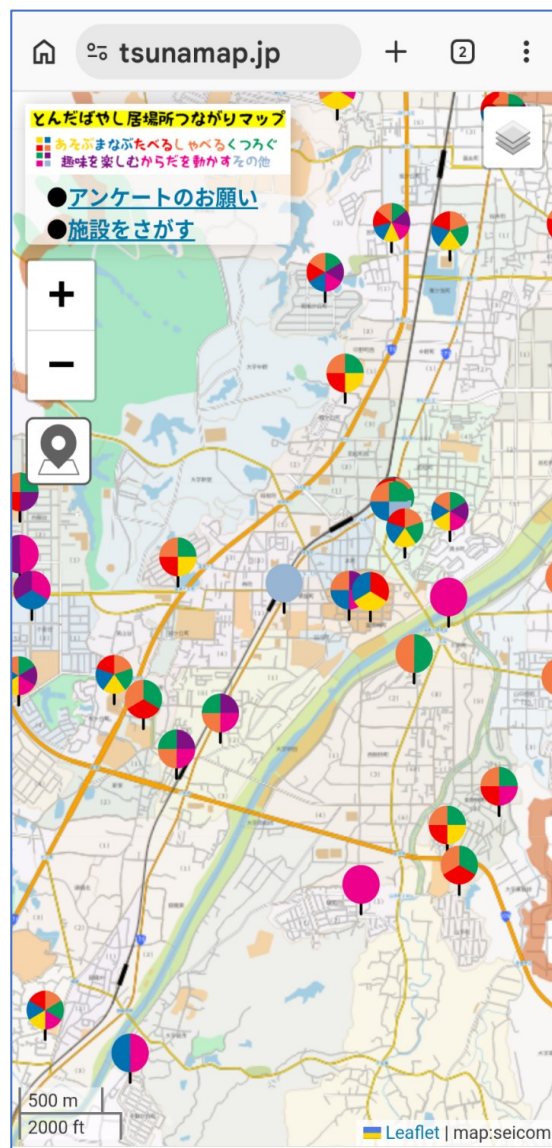
**たいしょう**

乳幼児  
 小学生 -  中学生 -  高校生  
 大人 -  高齢者 -  その他

検索結果

「もくてき」と「たいしょう」に  
チェックをつけて下さい

[クリアして地図に戻る](#)



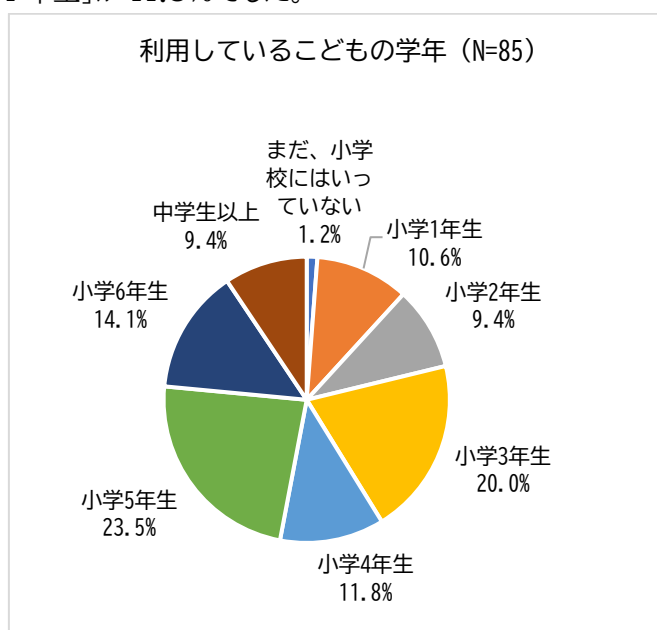
## 新堂小学校区、大伴小学校区の子ども食堂を対象に アンケート調査を行いました

2025年12月～2026年1月にこども食堂の利用状況、利用者やボランティアの意見、こども食堂に参加する人たちのつながり、地域とのつながりを確認するために、大阪大谷大学の王地先生に委託し、アンケート調査を実施しました。本来、富田林市内のすべてのこども食堂を対象に実施すべき調査ですが、時間的な制約等により、富田林市内で最も多くのこども食堂が運営されている新堂小学校区のこども食堂4か所と、まったくこども食堂が存在しなかった小学校区でこの事業期間中に新たに開設された大伴小学校区のこども食堂1か所、計5か所をモデルとして抽出し調査を行いました。以下、注目すべき点を報告書から抜粋しました。詳しくは応援隊発行「富田林市新堂小学校区・大伴小学校区こども食堂アンケート・インタビュー調査報告書」をご参照ください。

### こども食堂を利用しているこどもたちの意見

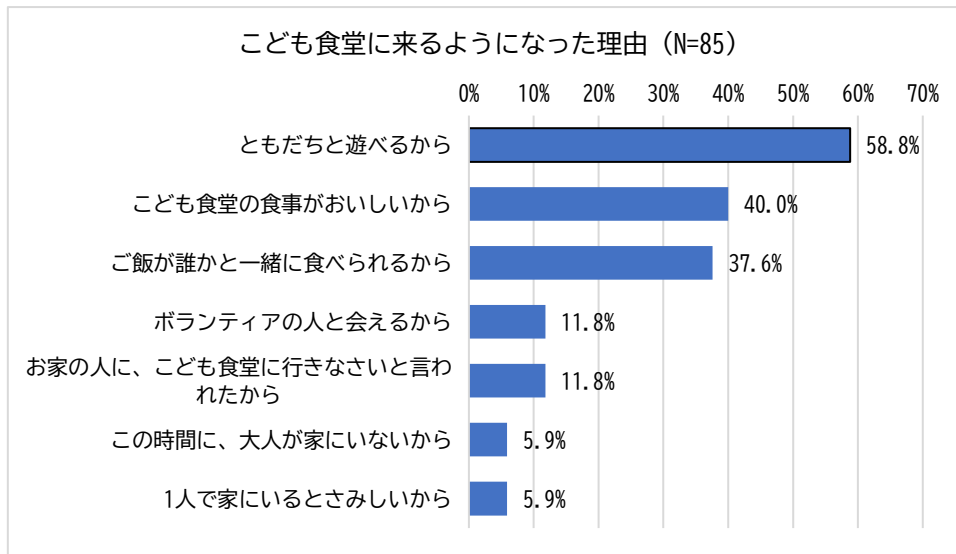
新堂小学校区、大伴小学校区にあるこども食堂を利用しているこども85人にたずねました。

利用しているこどもの学年は、「小学5年生」が23.5%で最も多く、次いで「小学3年生」が20.0%、「小学6年生」が14.1%、「小学4年生」が11.8%でした。



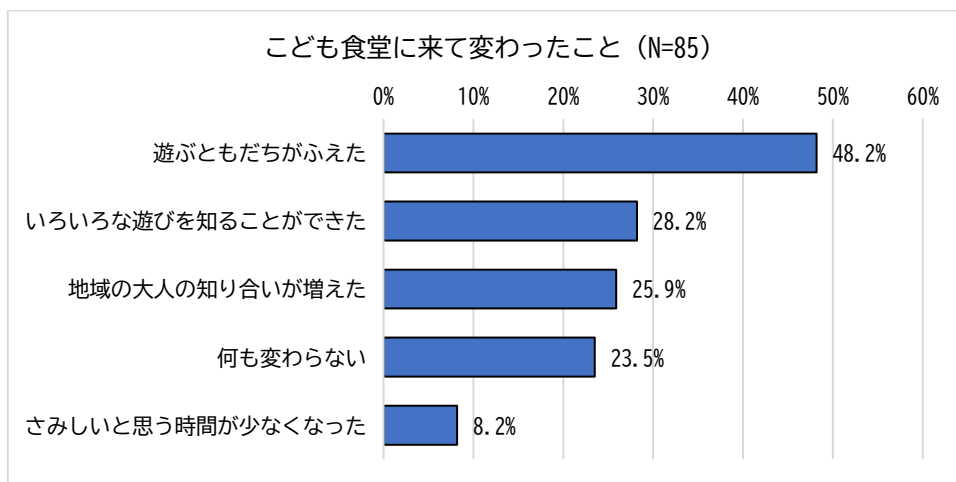
「こども食堂に来るようになった理由」は、「ともだちと遊べるから」が58.8%で最も多く、次いで「こども食堂の食事がおいしいから」が40.0%、「ご飯が誰かと一緒に食べられるから」が37.6%でした。

こどもたちは、「美味しいごはん」もさることながら、「ともだちと遊んだり、いっしょにご飯を食べる(共食)楽しさ」を求めています。



「こども食堂に来て変わったこと」は、「遊ぶともだちがふえた」が48.2%で最も多く、次いで「いろいろな遊びを知ることができた」が28.2%、「地域の大人の知り合いが増えた」が25.9%でした。

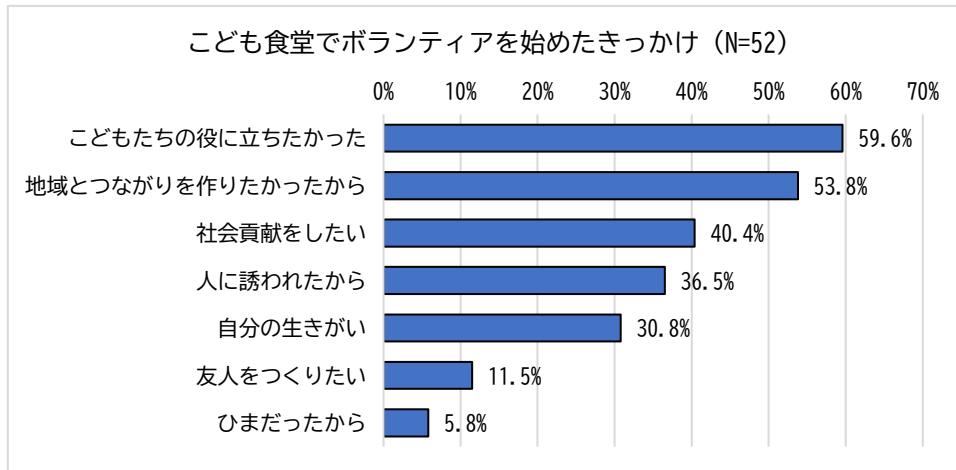
こどもたちは、こども食堂を通じて、ともだちが増えたり、地域とのつながりが強くなったことを実感しているようです。



## こども食堂に関わっているボランティアの意見

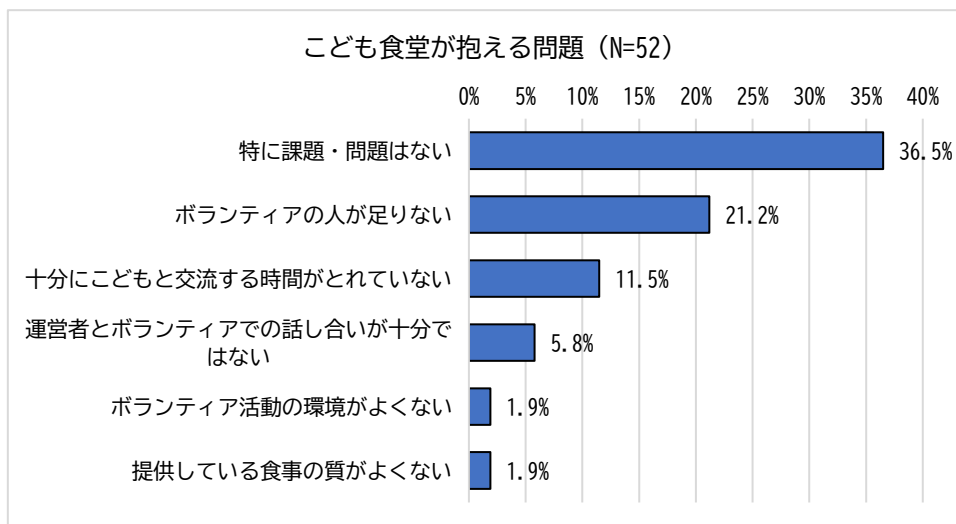
新堂小学校区、大伴小学校区にあるこども食堂に携わっているボランティア 52 人にたずねました。

「こども食堂でボランティアを始めたきっかけ」は、「こどもたちの役に立ちたかった」が 59.6%で最も多く、次いで「地域とつながりを作りたいかったから」が 53.8%、「社会貢献をしたい」が 40.4%、「人に誘われたから」が 36.5%でした。



「ボランティアが携わっているこども食堂が抱える問題」は、「ボランティアの人が足りない」が 21.2%で最も多く、次いで「十分にこどもと交流する時間がとれていない」が 11.5%、「運営者とボランティアでの話し合いが十分ではない」が 5.8%となっており、こども食堂では人手不足を抱えているようです。

また、「特に課題・問題はない」は 36.5%となっています。

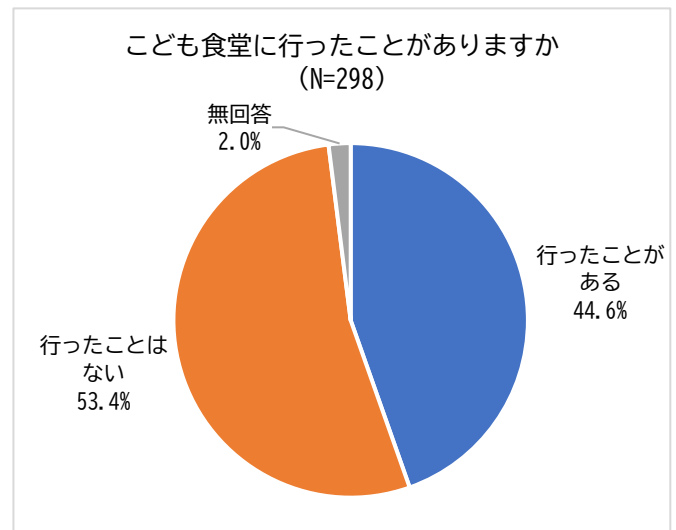
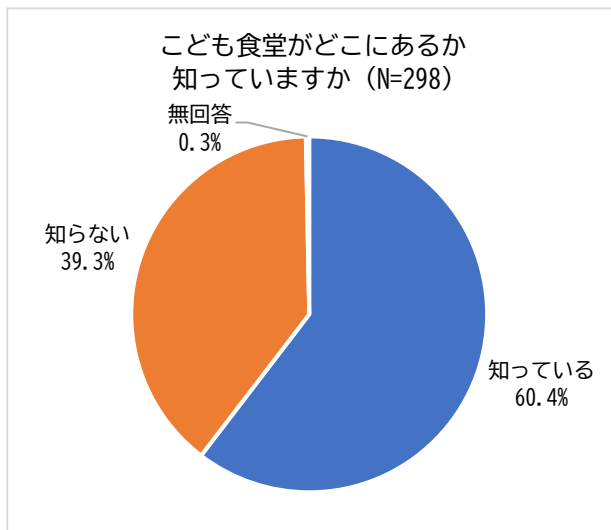


## 新堂小学校、大伴小学校に通う高学年の子どもたちの意見

新堂小学校、大伴小学校に通う高学年の子どもたち298人に子ども食堂について、たずねました。

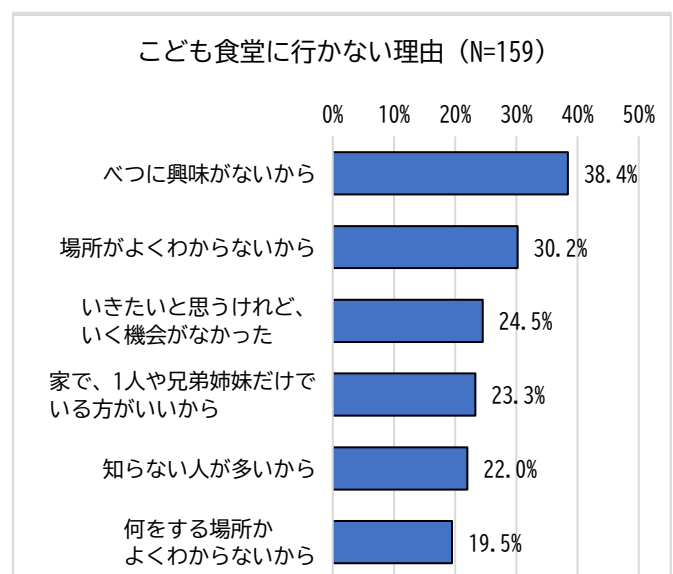
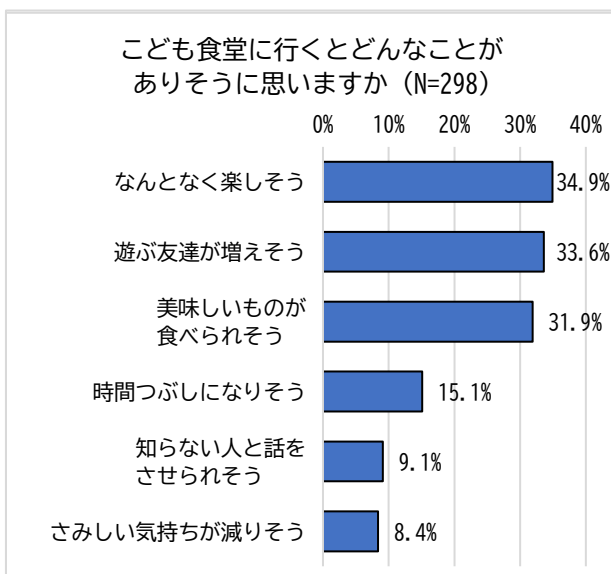
「子ども食堂がどこにあるか」を「知っている」子どもは60.4%と、多数を占めています。一方、「知らない」は39.3%に達しており、子ども食堂が校区内で十分浸透していない実態が浮き彫りになりました。

また、子ども食堂に「行ったことがある」は、44.6%と、わずかに半分を下回っています。



「子ども食堂に行くとどんなことがありそうに思いますか」は、「なんとなく楽しそう」が34.9%で最も多く、次いで「遊ぶ友達が増えそう」が33.6%、「美味しいものが食べられそう」が31.9%と、肯定的な感想が多く見られました。

「子ども食堂に行かない理由」は、「べつに興味がないから」が38.4%で最も多く、次いで「場所がよくわからないから」が30.2%、「いきたいと思うけれど、いく機会がなかった」が24.5%でした。



## これからの富田林市における居場所づくりの課題

### ① すべての小学校区への展開と、多様な居場所モデルの創出

「市内すべての小学校区に子ども食堂と地域の居場所を確保する」という目標の達成に向け、今後は「お試し子ども食堂」やカフェ等の居場所貸出しを推進し、立ち上げのハードルを下げます。また、高学年の子どもの約4割が「子ども食堂がどこにあるか知らない」、約3割が「場所がわからないから行かない」と回答している課題に対応するため、デジタルマップ「とんだばやし居場所つながりマップ」の活用や学校との連携を通じて、子どもたちへの周知(広報)を強化します。規模の拡大だけでなく、アンケート調査で明らかになった小規模で丁寧な関わりや、メニューを固定して負担を減らす「引き算の運営」など、地域の実情に合わせた多様な運営モデルを提案していきます。

### ② 運営の持続可能性と「担い手の循環」の促進

現場の大きな課題である「ボランティア・人手不足(21.2%が課題と回答)」を解消するための仕組みづくりが急務です。今後は、単に外部からボランティアを募るだけでなく、利用者が運営側へ回る「担い手の循環」を促進します。かつての利用者が中学生になってボランティアとして戻ってくる好循環や、子ども自身が受付や配膳を担い、運営の一部となるスタイルを他の地域にも波及させ、持続可能な人員体制を構築します。あわせて、ボランティア同士のつながりを強化し、運営者の孤立を防ぎます。

### ③ 食支援を超えた「地域のサードプレイス」としての機能拡充

市民ニーズ調査では、居場所に求めるものとして「誰かとの交流」「必要な支援とつながれること」が上位に挙がりました。また、子どもたち自身も「ともだちと遊べる」「誰かと一緒に食べられる」といった楽しさを求めています。このニーズに応えるため、今後は対象を生活困窮世帯やひとり親世帯等にも拡大し、「保護者の夕食づくりの負担軽減」や、障害福祉と連携した「何かあったときに頼れる場」づくりを進めます。多世代が自然に交流できるサードプレイス(第3の居場所)としての質的充実を図ります。

### ④ つながりフードサポートセンターを核とした広域連携

2025年4月に開設した「つながりフードサポートセンター」の持続可能な運営方針を確立します。今後は、人権協議会、市社会福祉協議会、きんきうえぶの三者の強みを活かした連携に加え、行政との協力体制をさらに強固なものにします。また、富田林市内にとどまらず「南河内全体を視野に入れた広域的な活動」へと展開し、地域の多様な主体が食品寄付や財政支援で関われるプラットフォームへと成長させていきます。

## 本事業を終えて

3年間の大きな事業を何とか終えることができました。目標は達成できなかつた部分もありますが、概ね達成できたのではないかと考えています。

全国で助成事業に採択された5団体のうち、コンソーシアムで取り組んだのは私たちの事業だけでしたが、コンソーシアムの各団体の得意分野を活かした連携があったからこそ、この事業を進めることができたと思います。また、富田林市の積極的なご協力も、事業を市内全体に広げるために大きな力になりました。

他にも、こども食堂運営者・ボランティア・利用者の皆さん、市内各小学校区交流会議の皆さん、民生児童委員協議会の皆さん、つなサポのボランティア・寄付者・応援企業の皆さん、大阪大谷大学の王地先生、他本当に多くの方にご協力をいただき“つながり”ができました。この“つながり”の構築が、本事業の最終目標「富田林のどこでも身近なところで居場所が運営されており、それぞれがつながっている」につながっていくと思います。全ての関係者の皆様に感謝を申し上げます。

助成事業は終わりましたが、地域の Well-being＝「幸福」を実現するためには、この事業を継続し、さらに発展させることが求められています。引き続きのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。





人をつなげ支え合う持続可能な富田林市こども食堂・居場所づくり

トータルコーディネート 事業活動の記録

発行 一般社団法人富田林市人権協議会

住所 大阪府富田林市若松町 1-7-1

TONPAL(富田林市立多文化共生・人権プラザ)内

電話 0721-24-3700